

# 議案の審議結果

付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決  
 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会  
 建：建設環境委員会 予：予算特別委員会  
 決：決算特別委員会

付託先	○賛成 ×反対 △退席											議決結果
	会派名(人数) ※議長は除く											
	自民党小金井(5)	日本共産党(4)	公明党(4)	市議会民主党(2)	みんなの党(2)	生活者ネット(2)	改革連合(1)	市民自治(1)	市民会議(1)	こがね市民会議(1)		
平成24年度小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について	決	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	認定
平成24年度小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	認定
平成24年度小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	認定
平成24年度小金井市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	認定
平成24年度小金井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	認定
平成25年度小金井市一般会計補正予算(第2回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成25年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成25年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成25年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市諸収入金の督促及び延滞金に関する条例等の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市立保育園条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市学童保育所条例の一部を改正する条例	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京たま広域資源循環組合規約の一部を変更する規約	建	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道路線の認定について	建	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度小金井市一般会計補正予算(第3回)	予	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
平成25年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	即	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
行財政改革に係る諸問題の調査(議員案)	即	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
平成25年度小金井市一般会計補正予算(第4回)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東小金井駅高架下自転車駐車場(西側)開設工事請負契約について	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

第3回定例会

臨時第4回

## 一般質問

(3面~7面)

9月5日・6日・9日・10日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

### 会派の略称

(自民党小金井) 自由民主党小金井市議団  
 (日本共産党) 日本共産党小金井市議団  
 (公明党) 小金井市議会公明党  
 (市議会民主党) 小金井市議会民主党  
 (みんなの党) みんなの党・小金井刷新の会  
 (生活者ネット) 生活者ネットワーク  
 (改革連合) 改革連合  
 (市民自治) 市民自治こがねい  
 (市民会議) こがねい市民会議  
 (こがね) 小金井をおもしろくする会

### 今後の市の介護予防支援について問う

中山克己(自民党小金井)

社会保障制度改革国民会議報告書では、軽度の介護認定者について今後の市町村対応の方向性が盛り込まれている。全国的に軽度な認定が増えてきているなかで市の現状と、ボランティア制度導入や要支援サービスの充実等の工夫により社会保障費の歳出を抑えていく必要がある。

**福祉保健部長** この5年間の認定者数では、要支援で約27%増、要介護で約20%増であり、平成20年度末に要支援者数が千39人、要介護が2千588人であったが、平成24年度末では、それぞれ千323人、3千112人と、要支援の伸び率が高いのが現状。報告書で地域包括ケアシステムの構築が最大の課題であると述べられており、地域での取組を活用した自助・共助を支える仕組みづくりが求められている。自治会、NPO、医療機関等の活動と合わせて可能な支援を行い、支え合う地域をつくるイメージであるが、財源や国の制度変更の動向を重視し、他市との情報交換等も含め、今後検討したい。

■その他、「いじめ防止対策推進法の成立を受け、今後の方策や対応策」「道路の官民境界確定と安全な道路整備の推進を」「行革での違った発想と転換による効果」を質問・提案しました。



### 美術の森緑地施設と野川の階段設置について

露口哲治(自民党小金井)

●市立はけの森美術館の緑地内には喫茶棟と茶室がある。喫茶棟は湧水のある環境を生かして美術の森敷地内でカフェを営業する有名店である。喫茶施設と連携をとりながら美術に親しんでもらい来館者増につなげるというが、美術館の開館中に長期の夏季休暇をとっているのが実情である。また、茶室は閉鎖されたまま放置されていて、このままではいずれ朽ちてしまう。

(ア)財政難の現状を理解してもらい、喫茶棟の家賃を徴収すべきではないか。(イ)茶室の価値、市の利用方針を問う。

**市民部長** (ア)他市でも同種の家賃はおおむね免除の扱いだが今後検討していく。(イ)茶室(花侵庵)は著名な建築家佐藤秀三氏と中村研一画伯のコラボによる建物である。美術館開館当初は一般貸出をしたが、現時点では修復を必要とする。

●野川の小金井街道から武蔵野公園までの右岸には、遊歩道(管理用通路)から河川敷へ降りる階段がない。中前橋通りの野川右岸に階段設置の市民要望もあった。市としての見解を問う。

**市長** 地域の方々のご理解をいただきながら、都に対して実現に向け働きかけたい。

